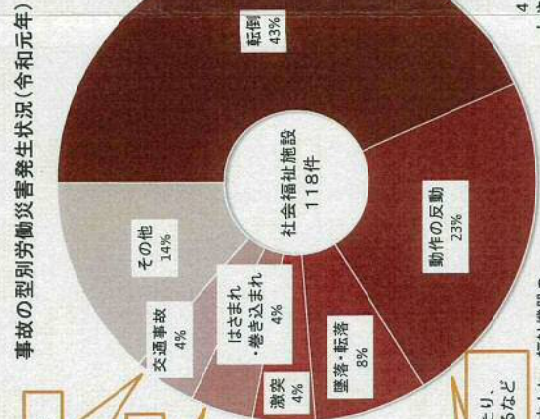
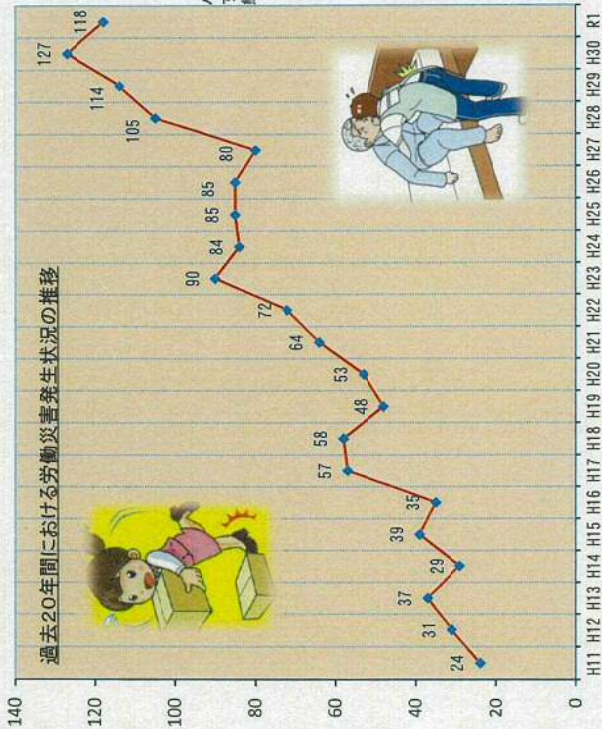


ノーリフティングケア研修（管理職編）

～社会福祉施設における労働災害の防止について～

青森労働局労働基準部
健康安全課 小鹿 直人

- 1 社会福祉施設における労働災害発生状況について
- 2 転倒災害の防止について
- 3 腰痛の予防について
- 4 危険の「見える化」による安全確保について
- 5 働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動について
- 6 その他



人がつまづいたり、滑ったりして倒れるなど

4S(整理・整頓・清掃・清掃)活動に取り組み、作業がしやすい環境を構築しましょう。
浴室等の滑りやすい箇所では滑り止め対策を講じ、また、屋外での作業は、季節を考慮した作業手順書を作成しましょう。

車両同士の事故、自損事故など
運転時間等、無理のない、適正な運行計画を確立しましょう。

機械や荷にはさまれたり、巻き込まれるなど
ベルトや歯車など回転する機械部分にはカバーを取り付け、くずを取り除いたり、清掃する場合は原動機を止めて完全に停止した状態で作業を行いましょ。

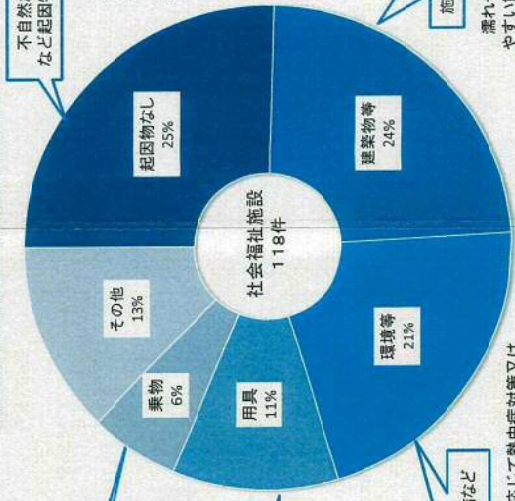
テーブル、椅子等に足をぶつけるなど
椅子等は、所定の位置に置きましょ。足を確認し歩行しましょ。

人が脚立・作業台・設備から落ちるなど
脚立は誰さんが滑りやすいものを使用し、安定している状態を確認しましょ。

利用者を抱え上げた際に無理に体をひねったり、不自然な姿勢となって腰部に強い負荷が加わるなど
入力による介助は複数人で行うことを基本とし、福祉機器の導入を検討しましょ。



起因物別労働災害発生状況(令和元年)



不自然な姿勢等で関節を痛めるなど起因物が介介しない事業
腰部等に無理な負担を掛けない作業方法・作業姿勢に
なっていますか?
また、適宜ストレッチング等を実施していますか?



施設、通路、訪問先など
濡れやすい場所やつまつきやすい箇所はありませんか?
4S(整理・整頓・清掃・清掃)活動に取り組んでいますか?

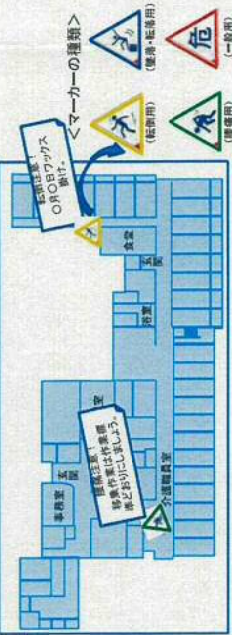
自動車など
福祉車両等の特性を理解していますか?
また、無理のない運行計画を立て、安全運転をしていますか?

はしご、脚立など
バランスを崩しやすい姿勢になっていませんか?

暑熱な気象、寒冷による減速など
季節に応じて熱中症対策又は防寒対策を講じていますか?
また、冬期間は滑りにくい履物を使用していますか?



危険マップ及びマーカーのイメージ



《お知らせ事項等》
○ 転倒災害が多く発生していることから、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
○ シート等を活用し、安全な環境を整えましょ。
○ 危険認識や作業上の注意喚起を分かりやすくする「見える化」が有効です。
○ 介護従事者においては、腰痛対策が課題となっているので、厚生労働省ホームページに掲載しているリーフレット「社会福祉施設における安全衛生対策」等を利用し、安全衛生教育を実施しましょ。

